

交野市私市山手地区が主催した防災訓練のお手伝いをしました！

日時：2015年10月25日（日）（8：30～12：00）

場所：交野市立私市小学校体育館

参加者：交野市私市山手地区の皆様

ファシリテーター補佐：建築学科学生14名+教員1名（合計15名）

今回の見どころ

交野市私市山手地区では、毎年地域の方々が自主的に防災訓練を実施されています。訓練には約200人が参加し、避難所に入る際の受付も実災害時のような規模で行われております。今回の災害図上訓練は、避難所となる私市小学校の本物の図面を班に分かれて囲み、災害時に起こりうる様々な問題を意見を出し合いながら解決していくものでした。この訓練は地域の方々が独自に考案されました。今回は17グループ編成（1グループが5～7名）で、17名の地域の方々がファシリテーターを務めました。訓練実施に向けて、何回も打合せや練習を重ねてこられたそうです。摂南大学生はファシリテーター役の地域の方々の補佐をしました。

プログラム実施風景



災害後に、避難所となる私市小学校に集まり、受付をすることで避難者名簿に記載されます。



今回、地域で考案されたプログラムを実施しています。1グループ5～7名とし、私市小学校の図面を囲んで災害時に起こる様々な問題を解決していきます。



最後に私達学生も、地域の方々の良かった意見、興味深かった意見などを発表しました。

プログラム実施結果

私市山手地区で大地震が発生したと想定し、避難所となる私市小学校で避難後地区ごとに分かれて受付を行いました。この規模での地震対応はこれまで見たことがなく、自分たち自身も大地震が起こった後の地域のイメージを掴むことができました。そして、今回は地域の方々が考案されたプログラムを中心に地域の方々のファシリテーターを補佐する役割を担いました。私達が行う「避難所運営訓練」とは違うタイプの図上訓練でしたので、どんなふうになるのか、楽しみでした。とはいえ、本番はファシリテーターの方々がスムーズに進行してくださったので私達学生のやることはほとんどありませんでした。一方で、参加された地域の方々から「学生さんの貴重な意見が聞けて良かった」、「学生のバックアップが心強かった」などのご意見を頂き、とても嬉しかったです。この体験を今後のプログラムに活かしていきたいと思えます。



参加していただいた私市山手地区の住民の皆様ご協力ありがとうございました。また、後日にはおいしいお菓子も頂戴しました。皆様に心から感謝申し上げます。